

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

発達障害で受診される患者の背景および転帰についての診療録調査

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学附属烏山病院において成人期発達障害・ADHD 専門外来を受診した患者さん(一般精神科外来で受診された発達障害の患者さんも含む)

対象とする診療録(2013年1月1日から2024年12月31日まで)

2. 研究目的・方法

自閉症スペクトラム障害(Autism Spectrum Disorder)や注意欠如多動性障害(Attention Deficit Hyperactivity Disorder: 以下 ADHD)および学習障害(Specific Learning Disorders)に代表される発達障害、特に成人期についての社会的関心は高くなっており、しかし、精神科にて本格的に診療されるようになってから十数年程度しか経過しておらず、成人になり受診される発達障害者の特徴については未だ明らかとなっておりません。昭和大学附属烏山病院では2007年より成人発達障害の専門外来およびデイケアを本邦で先がけて開設していることから、現在数多くの患者が通院しております。本研究では烏山病院の成人期発達障害・ADHD 専門外来を受診された患者(一般精神科外来で受診された発達障害の患者さんも含む)の背景、症状、心理検査の結果、転帰を診療録から後方視的に調査することにより、成人期を中心として発達障害の臨床的および社会的特徴を明らかにすることを目的としております。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学附属烏山病院において成人期発達障害・ADHD 専門外来を受診した患者さん(一般精神科外来で受診された発達障害の患者さんも含む)について、患者背景(性別、年齢、当院での診断名、初診日、精神症状、これまでの診断名、学歴、家族背景、幼少時の発達・生育歴、就労・生活状況)、通院後転帰(就労・生活状況、社会的支援利用の有無)、心理検査(AQ、ASRS、WAIS、ADOS、CAT)、向精神薬・抗ADHD薬の服薬内容やその効果、および出現した副作用について調査します。

5．外部への試料・情報の提供

該当しません

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学 発達障害医療研究所 氏名 太田晴久

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学 発達障害医療研究所 氏名：太田晴久
住所： 東京都世田谷区北烏山 6-11-11 電話番号：0333005231